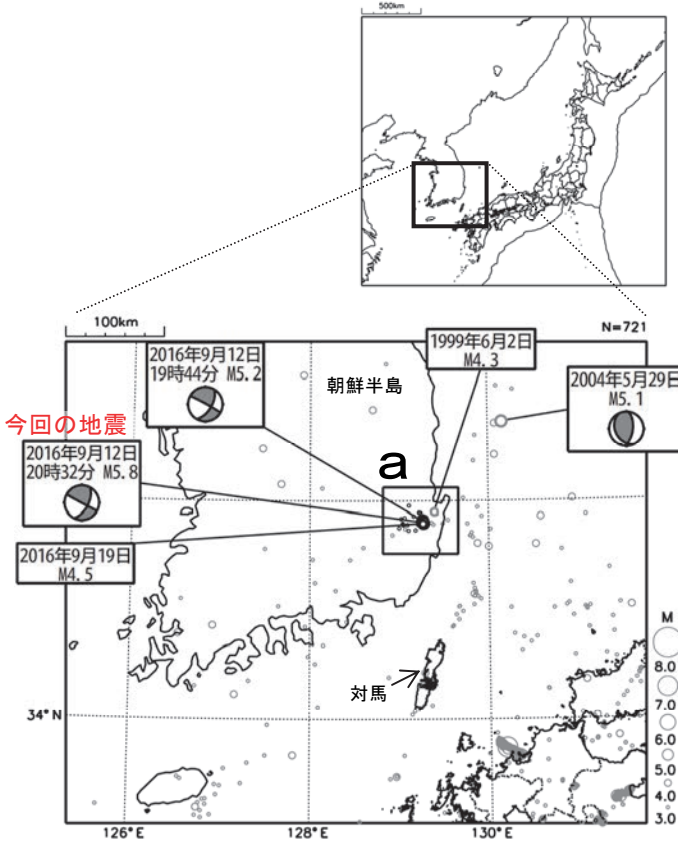


9 月 12 日 朝鮮半島南部の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 30 日、
 深さ 0～60km、 $M \geq 3.0$)
 2016 年 9 月の地震を濃く表示
 図中の発震機構は CMT 解

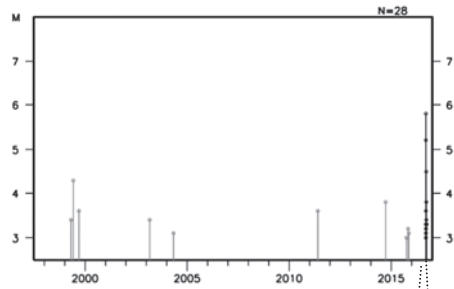


2016 年 9 月 12 日 20 時 32 分に朝鮮半島南部の深さ 18km(CMT 解による)で $M5.8$ の地震（日本国内で最大震度 3）が発生した。この地震により、長崎県対馬市で震度 3 を観測したほか、九州地方から中国地方にかけて震度 2～1 を観測した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構（CMT 解）は、東北東－西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震の発生前にもほぼ同じ場所で $M5.2$ の地震（日本国内で最大震度 2）が発生するなど、まとまった地震活動がみられた。

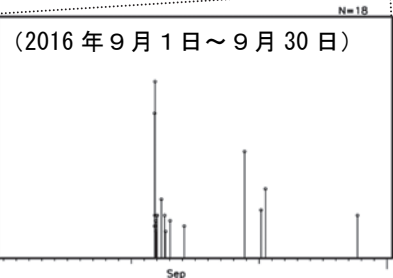
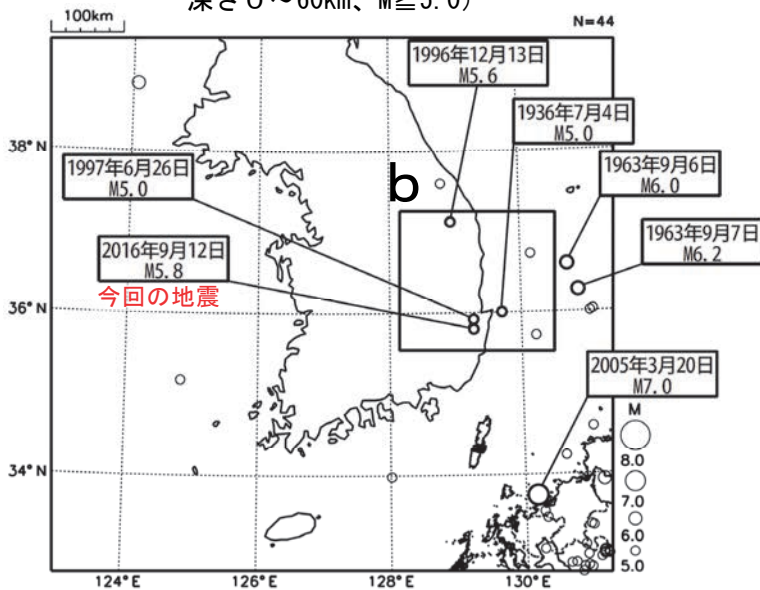
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、 $M5.0$ を超える地震が今回初めて発生した。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M5.0$ 以上の地震が数回発生していたが、その中でも、今回の地震が最大規模の地震（ $M5.8$ ）であった。

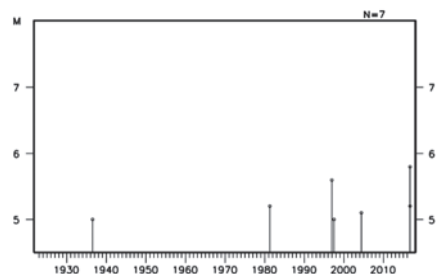
領域 a 内の M-T 図



震央分布図
 (1923 年 1 月 1 日～2016 年 9 月 30 日、
 深さ 0～60km、 $M \geq 5.0$)



領域 b 内の M-T 図



（この期間は地震の検知能力が低い）